

一九九一年五月

平城宮発掘調査出土木簡概報(三)

——二条大路木簡二——

奈良国立文化財研究所

大正通德... 被... 令... 知...

唐... 德... 坊... 令... 知...

石... 令... 人... 知... 令... 知...

大... 令... 知... 令... 知...



蒸米一龍
物冷
志要
河
神
阿
域

佛
子
受
分
真
如
集
天
人
世
女
若
樂
其
出
世

南
市
進
上
真
木
天
豐
劍

請
先
進
上
真
木
天
豐
劍
六
中
真
中
道

右内儀及州人供養料
 養人等八月廿日迄注記
 養費遺宜

園池同進
 毛竹流
 羊蹄二十
 養二十
 茶三十
 養六托
 養果
 合七種

一惠別錢三文元請
 養人等八月廿日迄注記
 養費遺宜

養人等八月廿日迄注記
 養費遺宜
 養費遺宜
 養費遺宜

天
平
八
年
四
月
十
三
日
從
古
儀
上
行
之
儀
數
三
年
自
清
三
人
之
儀
也
合
之
儀
也

左
京
新
進
准
二
隻
馬
高
三
疋
一
十
六
頭

天
平
八
年
四
月
十
三
日
從
古
儀
上
行
之
儀
數
三
年
自
清
三
人
之
儀
也
合
之
儀
也

左
京
新
進
准
十
五
隻
一
十
九
頭

天
平
八
年
四
月
十
三
日
從
古
儀
上
行
之
儀
數
三
年
自
清
三
人
之
儀
也
合
之
儀
也

人
給
物
帳

天
平
八
年
四
月
十
三
日
從
古
儀
上
行
之
儀
數
三
年
自
清
三
人
之
儀
也
合
之
儀
也

天
平
八
年
四
月
十
三
日
從
古
儀
上
行
之
儀
數
三
年
自
清
三
人
之
儀
也
合
之
儀
也

僧
堂
之
帳

人食于方丈
 百九人 如五水
 九十三人 如五水
 命彼回在古山

定口口口口
 南南廿一人
 文部

二何乃交是
 上日百五十四

物与
 物与

亦合不封

书

淡路國津島郡
言播野
言見里
言七
言在
言海

桶村宿姓
言田
言次
言調
言三
言斗

言
言
言
言
言
言

言
言
言
言
言
言

言
言
言
言
言

言
言
言
言
言
言

言
言
言
言
言
言

言
言
言
言
言

言
言
言



一司解中
物欠少事
夜去
年陽早

一司解中
物欠少事
夜去
年陽早

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

一獲早五
穀不登
老小
既食未

この概報には、さきに公刊した『平城宮発掘調査出土木簡概報』（二一三）（一九九〇年十一月）にひきつづいて、平城京跡から出土した木簡の一部を収録する。

一九八六年九月に開始したデパート建設に先立つ調査は、八九年九月に終了した。平城京左京三条二坊の一・二・七・八坪及び二条二坊五坪を対象にした三万㎡をこえる発掘において、「長屋王家木簡」「二条大路木簡」と称している大量の木簡が出土し、現在も整理が続いている。その成果の一部は『平城宮発掘調査出土木簡概報』（二一）～（二三）に掲載したが、本号は（二二）に続き「二条大路木簡」を収録する。

一、木簡出土の地点と状況

一連の調査で木簡が出土した遺構と点数、及び既発表分との関係をまとめたのが巻末の「木簡出土遺構一覧」である。合計二六の遺構から総数で十万点近くになるのではないかと予想される木簡が出土しており、整理が終わったものから順次、公表している。

本号が対象としたのは、「一覧」に示したように二条大路北の東西大溝から出土した木簡である。先に公刊した『平城京長屋王邸宅と木簡』（吉川弘文館刊）にも一部、これらの溝から出土した木簡の釈文を掲載したが、本概報にも改めて収録した。釈文に変更がある場合は、本概報によらねたい。以下、遺構の概略を記述する。

S D 五三〇〇・五三一一

二条大路の北端を大路に沿って東西に走る溝である。S D 五三〇〇の

東端は東二坊坊間路西側溝にあたるS D 四六九九の〇・八m西で途切れ、西端は左京二条二坊五坪南面中央に位置する門S B 五三一五の手前で止まっている。その門の西側からS D 五三一〇が始まるが、この溝は東端約六mを確認したに留まり、近鉄線の線路下へ続く。S D 五三〇〇は溝幅二～三m、深さ一～三mで、全長約五六mを完掘した。溝は四層に分かれ、上から「黄褐粘土混暗灰粘土層」「炭・砂混暗灰粘土層」「木屑層」「黄褐砂質土混青灰シルト層」となる。最上層の「黄褐粘土混暗灰粘土層」は埋め立ての土で、木簡はすべて以下の三層から出土した。木簡に記す年紀は一点だけ神龜五（七二八）年のものがあるが、他は天平三（七三一）～八年で、特に天平七、八年が多い。

S D 五三一〇は溝幅は不明、深さは一・一mで、土層は四層に分かれ、上から「暗灰土層」「暗灰粘土層」「木屑層」「黒灰粘土層」となる。木簡は「木屑層」から出土し、年紀は天平八年のものしかないが、木簡の内容はS D 五三〇〇と共通している。なお、この溝からは漆紙文書も出土している。

S D 五三〇〇は途中で流入・流出する施設もないので、溝状ではあるが、流れた痕跡のない遺構で、『木簡概報』（二二）で報告したS D 五一〇〇と遺構の性格が共通する。S D 五三一〇も同様と考えられる。また木簡の内容や年代にも共通点が多いことからみて、これら三条の溝から出土した木簡は、あい関連するものと判断して、「二条大路木簡」と仮称して検討を進めている。「二条大路木簡」の整理はまだ一部が終わったにすぎないが、その点数は、最終的には合計数万点にのぼるものと予想している。

なお、木簡の積読にあたっては、「長屋王家木簡検討会」（堀池春峰、岩本次郎、鬼頭清明、東野治之、綾村宏、館野和己、橋本義則、寺崎保広、森公章、渡邊晃宏）の成果を取り入れた。

二、凡 例

(一) 木簡は内容分類によって、文書、付札、その他の順に配列するのを原則とした。

(二) 積文の漢字はおおむね現行常用字体に改めたが、「實」「證」「龍」「廣」「盡」「應」「藝」「臺」等については正字体を使用した。

(三) 積文に加えた符号はつぎの通りである。

抹消した文字の字画のあきらかな場合に限り原字の左傍に付した。

■ ■ ■ ■ 抹消により判読困難なもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数の確認できるもの。

□ □ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。

□ □ □ 欠損文字のうち字数が数えられないもの。

□ □ □ 記載内容からみて上または下に一字以上の文字を推定したもの。

「 」 異筆、追筆。

「 」 合点。

・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。

カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。

ママ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。

「 」 校訂に関する注のうち、本文に置き換わるべき文字を含むもの。

() 右以外の校訂注および説明注。

[x] 文字の上に重書して原字を訂正している場合、訂正箇所の左傍に・を付し原字を上のを要領で右傍に示した。

○ 木簡の上端もしくは下端に孔が穿たれていることを示す。

(四) 積文下の上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はミリメートル)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。なお長さ・幅は木簡の字の方向による。

(五) 積文下の中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りで、四桁の数字を用いているが、本概報では時代を示す千の位を省き、下三桁の数字で表わした。なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

6011型式 長方形の材のもの。

6015型式 長方形の材の側面に穴を穿ったもの。

6019型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6011・6032・6051型式のいずれかと推定される。

6021型式 小型矩形のもの。

6022型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。

6031型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。

6032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。

6033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせ

たもの。

6039型式

長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6031・6032・6033型式のいずれかと推定される。

6051型式

長方形の材の一端を尖らせたもの。

6059型式

長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は6033・6051型式のいずれかと推定される。

6061型式

用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

6065型式

用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

6081型式

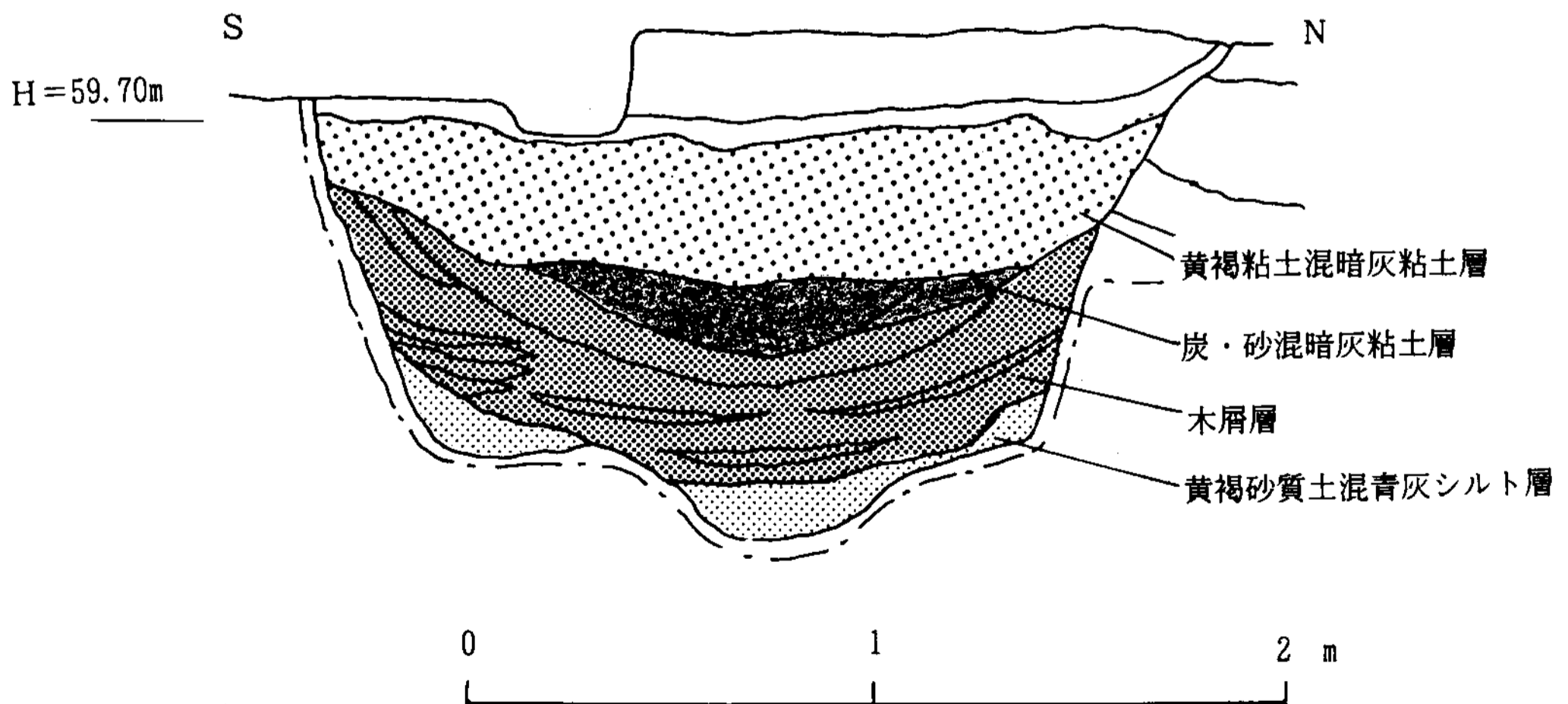
折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

6091型式 削屑。

(六) 積文下の下段に出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。〴〵は地区不明を示す。

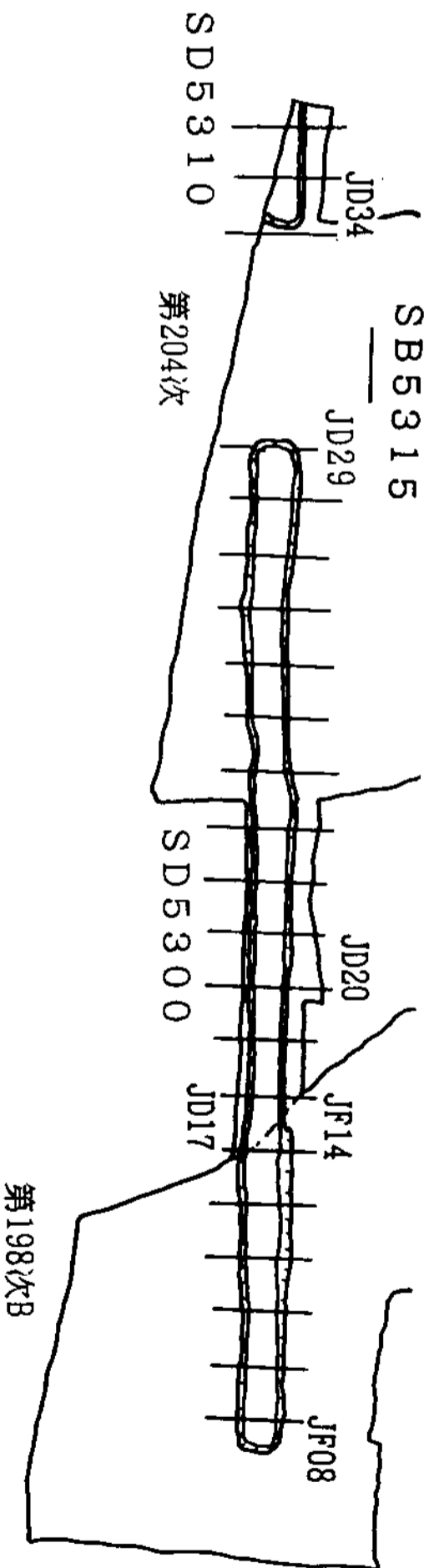
(七) 積文の出土地点の下に付した「*」印は、口絵図版に写真を掲げた木簡を示す。例えば、「*」は「図版 四」に対応する。

SD5300の土層図

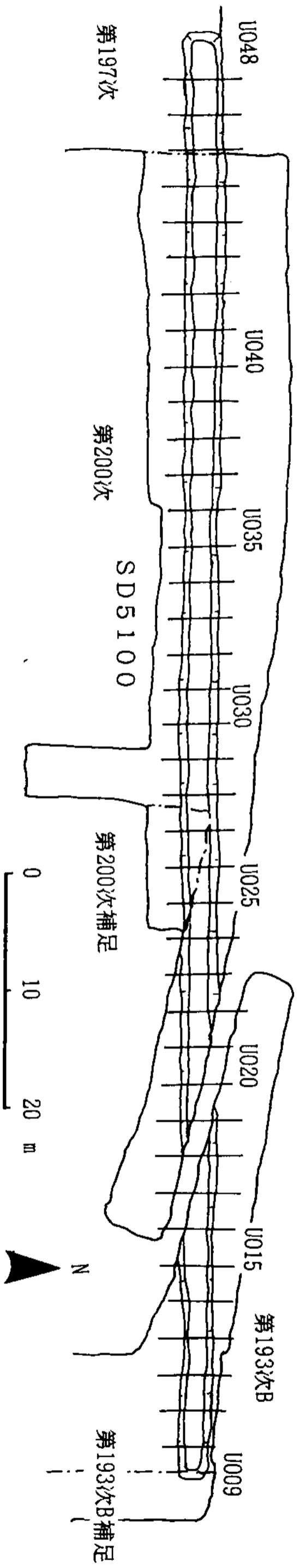


SD5300・5310の平面図と小地区割

(SD5100との対照図)



三条大路



東西溝SD五三〇〇

勅旨 海□三缶
息伎脂五籠
息伎鯨五籠

右典侍□

〔□〕 東純七十三匹 純廿四匹
〔□〕 純七十三匹 純廿四匹

(307)・(48)・10 081 JD22

謹解下番食司等借筒六口□□八月一日
返上必々

天平八年七月十六日間人兄万呂

他万呂

226・22・5 032 JD17

中衛府奏 合老□

(75)・(13)・4 081 JD27

式下郡司解「自」申沽□分田立券

〔□〕 □□□

大炊寮解 □□

(155)・(11)・2 081 JD24

〔八十田壘□〕

□業業子

160・(19)・3 081 JD28

謹解 請幸行御食備味物并御杯□事

〔物〕

陶 464・30・4 011 JD17

中宮職移兵部省卿宅政所
池辺波利 大鳥高国
太宿奈万呂 川内馬飼夷万呂

杖部廣国 日下部乙万呂
秦金積 太東人

八多徳足 史戸廣山
村国□万呂 大荒木事判
東代東人 太屋主
山村大立 陽侯吉足

狭井石楯 右十九口舍人等考文錢人別三文成選六文又官仰給智
馬国人 識錢人別一文件錢今早速進来勿怠緩
他田神□ 大属 少進
天平八年八月二日付舍人刑部望麻呂

261・42・3 011 JD28 *1

□符到奉行□□ (178)・(30)・5 011 JD29

・政所 牒岡本宅司 毛瓜甘顆 最

・知此状依数進送故牒 天平八年七月□ (212)・44・5 019 JD28
付使酒刀自女

・牒東宅司所 藁卅束 右物依数

・暫借明日報納故牒 九月二日大友真君 45・(34)・5 011 JD29

・牒 五十長等所 進入人堤家主右人

・取今月五日酉時進入如件 九月五日付得 嶋建部□万呂 253・29・3 011 JD19

「□□□」

・牒 酒司坐下 蒙恩□比投筆醜面然情腸不異每

・日捧乞□公善雜交菜一杯儲投乙曹司「乙乙乙」 儲授乙曹司「乙」 285・(26)・4 081 JD29

・牒 □□□

・更宮坊□□ (84)・(23)・3 081 JD29

・間人石勝牒 厨司前 □□□石□□□

・□兵衛令□石勝□□令□□□□ 179・(12)・3 081 JD22

・右京七條二坊戸主勲十二等臺忌寸千嶋之戸口千人 年十六

・右人所盜依豎子放依状注坊令等宣令知 八年十月廿九日 330・35・6 011 JD18 *1

召 李今国 233・38・8 011 JF09

召 大荒木事判 日下部乙万呂 河内夷万呂 狭井石楯 丈部廣国 216・41・10 011 JD26

・□部召 三宅安麻呂 今急々

・天平八年七月廿五日少□□ 大丞多治比真人 (219)・33・5 019 JD29

西坊 返二未一 受古智麻呂 充玉簪三條 七月廿四日 186・34・3 051 JD29

・蛙肆枚 脯老籠 腊老宮 右参種

・所給正六位上行家令勲十二等椋橋部造「伊藝美」

176・16・7 011 JF12

岡本宅謹 申請酒五升 右為水葱撰雇女
等給料 天平八年七月廿五日 六人部諸人

256・(23)・4 081 JD28 *11

請器 壺三口 一口四升受
二口各五升受
瓶一口 一升受

右物幸行御莫備納料

天平八年七月二日六人部諸人

324・(36)・4 011 JD29

請鯖五隻許 右為常食請如件必垂処分
天平八年五月十五日安藝史生尺度君万呂
「鯖鯖」 付男白

148・37・4 011 JF10

荒炭一籠右物今急要須請付使

借処分具狀以牒 天平八年七月廿日大友真君狀

324・44・5 011 JD29 *2

吉藁小一束許忽要須請

157・27・3 011 JD26

謹 酒司 侍者 光余恩莫虚返謹狀
□糟小々必扱幸甚々々

220・22・4 011 JD29

右申大中少弁大史葛□□ 十月廿七日

349・(30)・4 081 JD19

隼人司佑下毛野朝臣上錢 九百 九十九文

天平七年十二月十六日檢校直丁八国

142・19・4 032 JF11

園池司進 毛付瓜廿顆 羊蹄二斗 茶三斗五升 蓼四升
蔓菁十把 葵二斗 蘿蔔六把 合七種
右内侍尼州人供養料

(270)・32・3 019 JD17 *3

天平八年八月廿日正八位上行令史日置造「宜」

園池司 佑出雲鎌束進 熟瓜卅顆 生角豆廿把

天平八年七月廿四日付奄智造繩麻呂

330・46・4 011 JD29

園司進□□

(101)・(17)・14 081 JD28

○左京職進上 鼠卅隻 雀八隻
○ 天平八年四月八日

160・27・3 011 JF10

・ 〇 左京職 進 雀廿五隻
鼠一十九頭

・ 〇 天平八年四月十三日
從六位上行少進勲十二等百濟王「全福」

200・35・4 011 JF10 *4

・ 〇 左京職 進 鷄一隻 馬六三村
雀二隻 鼠一十六頭

・ 〇 天平八年四月十四日
從六位上行少進勲十二等百濟王「全福」

199・35・4 011 JF10 *4

・ 左京職進鼠貳拾壹隻

・ 天平八年七月廿二日從七位下行大属勲十二等膳造「石別」

(240)・(20)・4 081 JF11

・ 左京職進鼠廿一隻

・ 天平八年九月十八日從七位下行大属勲十二等膳造「石別」

205・31・2 011 JF11

・ 左京職 進鼠八隻 馬六六村

・ 天平八年十月廿七日

少進正七位上勲十二等春日藏首「大」

(193)・32・4 019 JD25

・ 〇 右京職申白土進事 合車二兩人一荷進上白土六〇

・ 〇 天平八年正月十八日□□榎井□□益
351・(29)・5 081 JD29

右京職進鼠貳拾伍隻 天平八年十月廿五日正八位上行大属

|| 田辺史「真上」

290・(27)・5 081 JD18

・ 〇 右京進 鼠卅隻 雀十 四月八日 364・46・5 011 JF10

・ □ □

・ 天平八年八月五日正八位下行少属室原馬養造「田主」

368・(19)・3 081 JD19

・ 西市進上 真木灰老斛

・ 請先進上真木灰 天平八年七月廿九日大原廣津
六斗直申送

286・33・5 011 JD29 *2

・右佐貴瓦山司 進上瓦一千二百枚 男瓦六百枚 載車九兩 男瓦兩別百五十枚
女瓦六百枚 女瓦兩別百二十枚

・上丁山下知麻呂 天平七年十一月卅日史生卜長福

464・48・6 011 JD28

・佐紀瓦司進上 榕十一荷 数二百枝 右付粟
・直少万呂申送以解 天平八年十二月八日史生出雲廣

415・50・6 011 JD29

・佐貴瓦山司 進

(114)・(31)・3 081 JD29

・「屋屋屋屋進進進進」守人足口榕
・越田瓦屋進上借子四人 葭屋酒人

・物部古万呂氷櫃 取子一点進上 「伊加口」
「物」 天平八年七月六日 「口」 右
出雲熊 「物部 物部部屋」垂水真鷹 「内掠馬甘」

369・(51)・10 081 JD29

・越田進上柴 (113)・(31)・3 081 JD29

・口口七百廿枚 並女瓦 右瓦進上如前 「六口」

・天平六年七月六日大狛廣万呂 (222)・41・4 019 JD22

・樸本三宅進上水葱種事 合卅四束 直錢六十八文

・一束別錢二文充請 天平八年五月十四日依羅真万呂

308・32・4 011 JD29 *3

・岡本宅 上進口瓜十 「和」

・天平八年七月廿日田辺久世口呂 「万」 267・(22)・3 081 JD28

・岡本宅 進上瓜拾伍顆

・七月廿一日 田辺久世万呂 177・25・6 011 JD29 *5

・岡本進上瓜口顆 「廿」

・別申牛真藟請解 天平八年七月廿一日 田辺久世万呂 219・(21)・5 081 JD29

岡本宅 進上瓜八百七十九

天平八年八月八日田辺久世万呂

251.37.5 011 JD29

丘本宅 □□

□□

枚一布匹八卷

首帳

127.(54).3 081 JD29

○進上礫廿七石九斗

充功兩別十四

○正月十九日付丸部藥進上

(295).(33).5 081 JD29

「貳拾貳拾夫夫夫夫夫」

進上贅事 合生鮭貳拾

「進進進□」 「讚讚」

若丈部荒山

得太理謹啓「天天天」

215.57.3 011 JD27

□進上大贅事 合四種

□一前 鴨一前

□料 進上如件

從八位下阿刀連「酒主」

凡直「判麻呂」

□ (189+185).89.10 019 JD28

□瓜十果 水葱四束 山榭一升 右為幸□

菁四束 茄子四升 □三束

天平八年六月廿七日葛木乙万呂

(304).36.4 081 JD24

□所 請□□□□□□□□□□請如件

天平八年正月廿八日田辺僧麻呂

327.(24).4 081 JD18

直資人十一人 大石毛野 志貴子老 伯祢大魚 佐本乙万呂

田部諸君 荒田公万呂 秦真葛 狛安德

太乙万呂 屋形諸魚 佐伯古万呂

宿資人三人 志貴子老 [x五] 伯祢大魚 天平八年六月三日田部諸公

狛安德

311.45.2 011 JD28 *5

○直資人合九人 田部諸公 葛野廣成 □□益国

○宿資人合三人 太乙満呂 大鳥豊嶋

葛野廣成 □□ (323).(32).2 019 JD28

宿直資人合二人 大原東万呂 六月三日大原「東万呂」

佐味梶取

279.41.5 011 JD28

□部古万呂

□染秋足 大殿侍 六月二日□

(99)・24・2 081 JD28

□部乙万呂
□忍坂乙万呂 (三カ)
五月□日

(153)・(36)・3 081 JF10

大殿侍

小槻草太万呂

□呂
□日非太

○ ○ ○ ○

105・42・4 011 JD29

人給所 □美豊嶋 □安石□
田辺豊万呂 大石伊波太支
太乙万呂 佐伯石見

役夫 瑞佐石万呂 湯人部酒人
□萬呂 出雲真勝 物部□麻呂

338・(55)・5 081 JD28

□河内夷万呂
桑原安万呂 日下部海師

物□
阿□

○ ○ ○ ○

桑原安万呂 日下部海師
河内夷万呂 物部牛養

(108)・38・4 011 JD29

〔田辺〕

□□豊麻呂 忍海忍国 葛野廣成
大荒木事分 穴人五百枝 大原東万呂
志貴老 佐伯益 若倭部馬甘

大原老足 右十三人 家令坂□石
役夫八鍛冶万呂 山口依比
□別大□ □冶皆万呂

(240)・(42)・7 081 JD27

秦鷹取
岡屋臣足

○ ○ ○ ○

(100)・39・3 011 JD29

資人 安倍五石

□□
□□豊□

(226)・(22)・9 081 JE28

一門 間人 守部

(155)・21・3 019 JF14

・二門 佐伯 皇后宮 雪 少山田 画師 壬生 借馬番長
大伴 丈土部 参河 下 大野番長

・合一十二人 依数入奉宮 長二人謹状 241・24・2 011 JD17

・二門 河合 臺 粟 壬生
間人 長 山代 高屋

・右八人 天^{〔x七〕}平八年七月廿五日 197・34・2 011 JF11

〔川カ〕 〔壬生カ〕

・二門 □合 間人 □□ 臺

・粟 合七人常飯受 193・(15)・3 081 JF11

・二門 佐伯 石作 太 阿麻 下野 鳥取 額田
大伴 雪 惠師

・下番 磯城 出波 下 合十三人 (247)・20・6 019 JD24

・二門 佐伯 雪 下野 刺金 大石 生部
大伴 丈海

・宇治 春日部 下番 生部 合十三人 (226)・(23)・5 081 JD22

・二門 川合 額田部 額田 右六人常食給申
下 高 白髮部

・ 八月廿一日 (268)・31・3 019 JF12

・三門 出雲 丸部 物部 右三人
別申飯一加給申 140・17・4 011 JF12

・北門 安宿戸 依網津 播磨 賀毛 紀伊 右五
・三門 音太郎 出庭 桑原 達沙 宇治 合五 (247)・24・3 019 JD23

・南門 高屋 高麗 凡人足
丈部 縣 金刺

・合八人 117・31・3 011 JD23 *5

・南門 笠 蝮

・私部 右五人常食 (168)・(22)・4 081 JF11

・外南門 大原 磯部 二人 (165)・(18)・13 081 JF12

・□門 川合 額田 額田部 三宅 大伴 出庭
白鳥 安刀 長谷部 下乙兄 大蔵

・右十一人常食欲 209・34・3 011 JF12

・三井上三嶋□

・右五□

(56)・14・2 081 JD17

・物部君 二人
刑部千鳥
初夜

90・28・5 011 JF08

・三井上三嶋

・考 秦□人万呂

(71)・(9)・2 081 JD20

刑部国足 佐味伊与万呂
占部真勝 右三人初夜

105・28・2 011 JF09

・御井於 見嶋 掃守 英多 宅良

・安麻 右伍人使衛士筆取見嶋

149・20・4 011 JF12

刑部白万呂 右二人後夜
丈部国万呂

128・(48)・4 081 JF09

・山口 額田 額田部 大伴 下 出庭 阿斗

□ 合十四人 受食一斗四升

(179)・15・4 019 JD26

私部大万呂 後夜
物部荒嶋

112・36・2 011 JF10 *6

□ 豊国 物部牛万呂
刑部千鳥 三人後夜

・今請千鳥

160・29・3 011 JF10

・七日不食米

〔三カ〕
□斗□升四合 □

□

□

□

□

□

垂水三田万呂八合

岡屋臣足八合

丈部子虫八合

河内夷万呂八合

□ 八合

大友春山八合

資人一升六合。

・天平八年七月廿二日苅田孔足

〔□□〕

。

412・(28)・3 081 JD28

・十一日不食米一斗一升六合

土師石前八合 阿刀真公八合 日下部海子八合
土師嶋村八合 家令一升四合 豊国廣虫八合
田辺僧万呂八合 忍坂乙万呂八合 丸部武蔵一升
尋津福万呂八合 赤染秋足八合 佐味梶取六合
阿刀飯主六合
丸部田主七合
上虎万呂七合

天平八年五月十一日 苺田孔足 「真公」

。

365・38・6 011 JD28

・十一日料飯
「飯飯料」

資人三〇 阿刀酒主一升
内〇万呂一升「飯」 内蔵人三升「飯」 尾張女二升

馬司等四升半「倭倭」 山女一升 綿七合
秦子君七合 大倭「倭」 〇〇〇一升 河内古一升 「大大」

真〇一升 「酒刀自」
大舍人一升 酒刀自一升 「酒酒」 苺田一升
葛木乙万呂一升夕 秦浄足一升夕 仕

〇〇〇大原古一升 史生〇〇二升半 六人部一升
〇〇〇升 〇〇一升 星川他〇二升 物部牛養七合
〇〇〇升 六人部〇人 〇〇〇師二升半

籠作一升半 政所出一升受秦子君
〇〇〇一升 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
物部七合 丸部七合 国七合
阿刀七合 河内七合 忍海七合

奴已知
「郡郡 郡」

(他に両面に天地逆の習書あり) (852)・(36)・6 081 JD18

・十七日不食米一斗九升

・資人十四人分五升六合

(148)・(33)・5 081 JD29

・廿四日不食米一斗一升四合

土師石前八合 葛
日下部海子八合 大原
河内夷万呂八合 忍坂乙

「判稻万呂」 天平八年五〇 (260)・(33)・3 019 JD29

・丈部子虫八合 三枝部黒万呂□升一合
 □□八合 大友春山八合 資人五口四升
 〓八合 苺田孔足四合

・資人二口 充食具狀下符
 八月十九日僧麻呂 173.34.4 011 JD29

・天平八年八月七日掃守乙万呂「判稻万呂」(227)・(47)・4 019 JD19

〔三田〕
 垂水□□万呂
 合 日下部乙万呂 八合
 □□八合

〔葛〕
 □木乙万呂八合 山代子虫八合 上虎万呂七合
 □原東万呂八合 □□□一升 □飯主六合
 〔大〕 〔丸部武蔵〕 〔阿刀〕
 □月廿四日苺田孔足 (233)・(16)・3 081 JD29

・「□□」天平八年七月廿□ (124)・(19)・4 081 JD29

・□子虫八合 〔春日沙弥六合
 〔廣成八合 〔凡半万呂六合
 □□四合
 〔判稻万呂〕 (183)・25.3 081 JD28

□合 大友春山八合
 八合 三枝部黒万呂□
 □□

・天平八年八月八日掃守□ (115)・(28)・3 081 JD20

〔家〕
 □令一升四合 日下部海子八合 山代子虫八合 阿刀飯主六合
 □□ (324)・(8)・5 081 JD29

・秦少足 佐伯益
 船淨津 田部諸君 右四人

・常食充 天平八年八月廿六日河内比奈万呂 200.51.25 065 JD29

□□ 各一升六合 犬四合
 □□人一斗七升六合 〇 (174)・55.3 019 JD28
 三人六合

・資人 合四口 佐伯益 葛野廣成
 宇治凡万呂 右充食常

・天平八年九月八日河内連「比奈万呂」 210.36.4 011 JD29

資人百二節 葛木乙万呂卅節
 〔節〕□□九十二節 □赤人廿節
 〔呂卅節〕常牛養卅節 (264)・41.4 011 JD29

中衛府

廿九日 二〇 [鴨力] 廿七日 一〇 [鴨力] 159.17.3 032 JD25

大足列米運人万呂五俵 七月一日付古久須美 167.23.6 033 JF11

鷹所 菌部伊賀麻呂 雪牛養 凡人足 鳥取咋麻呂

運出兵士十人 付尾張飯足 十月十四日日下部建虫 167.20.2 011 JF12

雲国足 并五人 203.32.5 032 JF11

鷹所 笑原 檜前 周防 丈部 高田 佐伯

伊賀万呂受衣十領 犬万呂受衣十八 猪手受衣廿 麻 黑猪受衣十四領 辛人受衣十五 東御厩六人 西 龍万呂 (250)・51.5 019 JF12

三宅 合七人 大直所 三宅加佐万呂 (153)・(20)・11 051 JD28

太政官四十 83.5.5 011 JD29

鷹所 笑原 丈部 檜前 高田 周防 佐

中宮職舍人正六位上狭井石 (243)・(12)・3 081 JD29

合八人 (89)・21.2 019 JD21

蔵部四 176.170.6 061 JD25

御馬所仕奉奴 合肆人 大麻呂 否佐麻呂 牟須比 阿曇

宮内省 (118)・(23)・9 081 JD18

右件奴等歴名申送如前 天平八年三月十日 (301)・46.7 019 JF09

主菓餅 今定 物 斗 (120)・15.5 019 JD25

東人列米運少白列五俵 十上付伊福部身万呂

大炊 (347)・18.2 061 JD17

164.31.3 051 JF09

前内膳司	(114)・12・3 081 JD21	上毛野宅持	(181)・(15)・6 081 JF09
中衛少初位下	(67)・(5)・4 081 JD29	入鹿女 □□	(220)・(22)・3 081 JF10
将曹従八位下	(90)・(19)・1 081 JD23	入鹿女	(92)・12・4 081 JF11
家令下村主廣万呂		君子 上毛野朝臣	
書吏河内画師屋万呂	140・23・3 011 JD29 *6	□ 三宅大麻呂	
書吏六人部連		物部乙□	
□ □	(144)・(10)・3 081 JD29	天平八年七月九日	(67)・(20)・4 081 JF08
務所		二 阿刀友足 上日百五十四	143・25・6 015 JD29 *6
□ 戸乙万呂	(38)・(23)・4 081 JD29	二百濟	(35)・24・3 015 JD29
〔史〕		下走阿刀酒主	(114)・(38)・1 081 JD29
多米豊足	(70)・14・3 019 JF10	他田部小龍逃之替	155・40・4 011 JF09
物部真国	(122)・(15)・3 019 JF10	三列 鳥養造伯麻呂	(240)・(17)・6 081 JF10
田辺豊万呂	167・17・3 051 JF12	□ □	
生部君足	168・16・4 051 JF12	天平三年五月四日	(85)・63・6 011 JF10

・本一貫 後
天平八年三月返上 116.18.3 032 JD18

・皇勅 帙表□□
皇□□□□□ (軸部分)

・出拳錢数 古斐卅七文
美濃麻呂七文
若佐五文

・天平八年閏月
孔安国年 (木口部分) 長63.径8 061 JF12

・船五文
沙美五文 天平五年二月九日
魚麻呂四文 合六十二文 (C.P.)
144.49.4 011 JF10

・請人功錢十五文右十三日雇人
三人充給十月十四日 155.17.3 011 JD17

三月廿日專大夫受 三百文 五年 [何カ]
□ □ 十月十七日受□□ (190)・(19)・4 081 JF11

二百廿文 閏月廿四日專大夫受 九十文 四月十九日受□田廣国 一貫 十一月廿日受何万呂
□文 二月廿八日受薦集馬甘 □ (275)・(20)・4 081 JF11

置始□□ 古鯖直百文遺受乙猪 (340)・12.2 081 JD17

□□万呂請百文
□人国足給錢十四文

自内給出鱒 天□ (142)・35.8 039 JD27

[鯖取カ]
廿文□□□□ □大夫所百文
百文四□船主□
見二百六十文 (183)・31.3 019 JD26

□散用

仁色郷多比膳 (87)・23・3 019 JD26

・遠江国磐田郡壬生郷戸主服織

(124)・28・2 039 JF09

尾張国阿^{〔由〕}口市郡日[□] (184)・18・4 019 JF11

・大津里戸矢田部志我麻呂堅魚
・員十六連

199・22・3 051 JF13

参河国播豆郡篠嶋海部供奉九月料御贄鯛楚割六斤

241・(14)・3 031 JF09

・駿河国安倍郡中男作物堅魚
・煎一升 天平七年十月 「小[□]」

110・11・3 033 JF11

参河国播豆郡篠嶋郷[□]

(117)・21・4 039 JF10

・駿河国駿河郡柏原郷[□]

・七連四節

(107)・27・3 039 JF11

参河国播豆郡篠[□]

(76)・20・4 039 JD22

・駿河国駿河郡古家郷井辺里戸春日部高根調荒堅[□]

天平七年十月 (258)・25・5 019 JD17

参河国播豆郡析嶋海部供奉六月料御贄佐米楚割

(263)・19・3 031 JF08

・伊豆国煮堅魚

・「伊豆国煮煎一[□]」

(48)・9・2 019 JD2

参河国播豆郡析嶋郷海部供奉八月料御贄鯛楚割六斤

238・17・5 031 JD24 *7

伊豆国田方郡棄妾郷瀬崎里茜部立麻呂調荒[□] (183)・25・5 039 JD17

〔析嶋海部供奉八月料御贄佐米楚割六斤 (200)・21・3 039 JD19

・参河国渥美郡大壁郷松間里丈部煮得調塩一斗

天平八年七月六日 253・38・4 031 JD17

・田方郡棄妾郷瀬前里

大生部古万呂

天平七年十月 147・18・4 031 JD17

- ・伊豆国田方郡棄妾郷瀬崎里□□大生部□□大生部□□
□ □ 385・(16)・4 031 JD19 伊豆国中郡「上」 178・17・5 033 JD19
- ・田方郡有雜郷大伴部若麻呂煎一□
天平七年十月 127・13・3 032 JD20 伊豆国中郡「上」 125・16・5 033 JD25
- ・伊豆国田方郡久寢郷坂本里物部百瀬調荒堅□
天平七年十月 「八連□」 (274)・26・4 039 JD23 伊豆国中郡「上」 152・14・6 033 JF13
- ・伊豆国田方郡久寢郷坂上里矢田部千嶋調荒堅魚□
(305)・28・3 039 JD27 伊豆 八連□□ □調荒堅魚十一斤十兩 148・13・5 033 JD22
天平七年十月 331・36・6 031 JD19
- ・伊豆国田方郡棄妾郷許保里戸主大伴部五百万呂口大伴部身万呂調荒堅魚「一斤十五兩 五連六節」
天平七年十月 328・30・5 031 JD18
- ・伊豆国田方郡久寢郷坂上里日下部真廣調荒堅魚十一斤十兩 天平七年九月 「七連一丸」 353・30・4 031 JF11
- ・伊豆国賀茂郡賀茂郷湯辺里戸丈部石西戸丈部□西調荒堅魚十一斤十兩□連□□ 天平七年十月 326・(24)・6 081 JF10
- ・伊豆国賀茂郡川津郷湯田里戸主矢田部伊豆麻呂調煮堅魚八斤五兩 七□ (234)・24・3 019 JF11

〔賀郡都比〕〔洲里〕 戸主日下部鳥万呂 調荒堅魚十一斤十兩 「七連八丸」
物部大友 天平七年九月 357・32・10 032 JDZ

安房国安房郡片岡郷瀧辺里戸卜部黒麻呂輸艘調陸斤 伍拾伍條 天平七年十月 300・29・7 031 JF11*9

橘樹郷茜十一斤 142・22・4 032 JD26
・近江国坂田郡 上坂田郷 175・25・5 033 JF10

安房国安房郡塩海郷播羅里若田部宮 〔足カ〕 〔陸斤陸拾條〕 天平七年十月 〇 265・24・4 031 JD19
・近江国坂田郡上坂郷戸主藪田虫 147・17・5 033 JD29
・田虫麻呂戸庸六斗

安房国安房郡大田郷大屋里戸主大伴部黒秦戸口日下部金麻呂輸艘 〔 〕 (214)・27・4 039 JD24
・近江国坂田郡上坂郷戸主藪田虫 179・(18)・5 051 JD28
・万呂戸庸六斗

左兵衛下総国埴生郡大生直野上養布十段 173・21・3 032 JD17
・近江国坂田郡上坂郷戸主比流 171・24・3 051 JD29
・伊吹戸庸六斗

〔郡〕
・近江国蒲生 〔周恵郷春日部〕 (146)・19・4 051 JD24
・伊吹戸庸六斗 128・21・3 051 JD29
・君麻呂庸米一俵

神埼郡小幡郷大豆一石 172・22・3 033 JF12
・近江国坂田郡上坂郷戸主 比流酒人万呂戸庸六 (147)・22・3 059 JD29

- ・近江国坂田郡上坂郷戸主
- ・酒人真人色刈戸庸六斗
- 190・20・3 051 JD29
- ・近江国坂田郡上坂郷
- 〔マ〕
- ・戸主酒人公人諸土戸六斗
- 138・20・3 033 JD29 *8
- ・近江国坂田郡上坂郷戸主坂田真人
- ・須我而戸庸六斗
- 135・21・5 033 JD29
- 〔戸〕
- ・近江国坂田郡上坂郷□□
- 〔戸〕
- ・戸庸六斗
- (128)・24・4 039 JD29
- ・近江国坂田郡上坂郷
- ・酒波今庸六斗
- (127)・26・3 039 JD29
- 江国坂田郡□
- ・三斗
- 波今麻呂□
- 〔酒〕
- (51)・25・3 081 JD29
- 国坂田郡上坂田郷戸主建
- ・部廣足戸六斗
- (152)・19・3 059 JD29
- ・近江国坂田郡上坂□
- ・庸米六斗
- (96)・29・3 039 JD28
- 〔江国坂〕
- 近□□□田郡上坂郷庸□斗
- 164・21・2 033 JD28
- ・近江国□
- 三斗
-
- (47)・(23)・3 039 JD29
- ・坂田郡上坂郷
- 六斗
- (113)・17・4 059 JD29
- ・坂田郡上坂田郷戸主丸部豊嶋
- 庸六斗上
- 147・24・3 033 JD29
- ・坂田郡上坂郷□□臣足□
- 米六斗
- (180)・(19)・6 039 JD29
- ・坂田郡上坂田郷沼多里戸主
- 大寸直□月戸庸米六斗
- 〔止〕
- 167・24・7 032 JD29
- 坂田郡上坂郷阿刀
- 104・15・4 033 JD29

・坂田郡上坂郷有羅里戸主坂田老戸
・庸米三斗

130・17・3 051 JD29

青里加麻須脂

59・11・2 051 JD27 *8

〔坂田郡〕

・□□□上坂郷戸主□□

若狭国三方郡御贄鯨鮓老斗

178・30・4 032 JF13

・戸六斗

(162)・34・4 033 JD29

越前国足羽□

(63)・17・2 039 JF11

・上坂郷戸主□□黒麻呂

・越前国丹生郡賀茂郷

・庸六斗

133・17・3 033 JD28

・戸主土師古牛戸白米五

183・25・3 051 JD19

・上坂郷戸主坂田酒人真人乙刀麻呂

足羽郡中野郷戸主白髮部石弓戸□

178・22・5 051 JD23

・□米□□□
〔庸力〕

196・24・3 033 JD29

・少名郷呉桃子三斗
・中男

147・17・3 033 JD23

上野国糧代布

149・23・3 033 JD23

・能登国能登郡鹿嶋郷調熬海鼠
容六斤

・若狭国遠敷郡 木津郷中海里
伊賀部千国調三斗

天平八年八月四日

206・23・5 031 JD27 *9

・伊

197・25・4 031 JD19

・但馬国気多郡思殖郷波太里

・若狭国遠敷郡 秦人孔子御調 三斗

・忍海部麻呂白米五斗 天平八年八月九日

157・23・3 051 JD18

・神龜五年九月二日

(208)・(22)・5 081 JF12

・丹後国鮮鮭 御贄 雄腹

・與謝川

(148)・22・4 039 JD24

因幡国気多郡中男作物海藻大贄老籠 四斤九両 天平五年四月

327.17.3 011 JD25

因幡国進上鮮鮭 御贄老隻 雄栖 天平八年十月

203.23.6 031 JD17 *9

〔進上鮮鮭 御贄老隻 雄栖 天平八年十月 (152)・20.6 039 JD18

石見国那賀郡右大殿御物海藻一籠納六連 天平七年六月

335.40.6 031 JD28

・石見国美濃郡大野郷高葛里〔 〕
〔神人本国〕

・〔石見国邑知郡調綿老伯屯〕 (214)・(25)・8 039 JD18

・隱伎国智夫郡 由良郷阿曇部赤人
調海藻六斤 天平六年

・隱 〔里〕〔日〕 166.20.5 031 JF09

隱伎国海部郡海部郷 志吉里壬生部池田
調海藻六斤 178.35.3 031 JF10

隱伎国海部郡 佐伎郷都深里凡海部 天平七年 164.27.4 031 JF11
弥都麻調海藻六斤

隱伎国海部郡 作佐郷大井里海部直麻呂 148.25.3 031 JF13 *8
調海藻六斤天平七年

隱伎国 海部郡作佐郷大井里 天平七年 159.29.7 031 JD27
海部直佐原調御取鮓四〔斤〕

隱伎国海部郡 作佐郷大井里阿曇部真佐 157.18.4 031 JD25
調短鮓六斤 天平七年

隱伎国海部郡 御宅郷弟野里日下部小竹 188.26.2 031 JD23
調螺六斤 天平七年

・播磨国多可郡蔓田郷高 190.24.5 031 JD18
・岡戸主千足封戸白米

・播磨国多可郡蔓田郷川辺里高屋 259.24.6 051 JD29
・諸人裏白米五斗

播磨国賀古郡淡葉郷〔 〕里伯祢部石村御調御贄〔大鮓六斤太〕 293.22.5 032 JD23

- ・賀茂郡川合郷坂本里 (155)・27・4 039 JD24
- ・佐伯部豊嶋白米一俵
- 備前国児嶋郡小豆郷調水母二斗八升 175・17・4 033 JD18 *9
- 紀伊国伊都郡中男輸海藻六斤 天^〇 十月 (159)・18・5 032 JF12
- 紀伊国安諦郡駄戸桑原史馬甘戸同廣足調塩三斗
- 天平四年十月 262・20・4 032 JD24
- ・淡路国津名郡育播郷二見里人大戸主海
- ・稻村戸同姓三田次調三斗 295・27・4 032 JD24 *8
- ・淡路国津名郡育波郷月
- ・里百姓戸海部飯万呂調三斗 237・34・4 032 JF12
- ・淡路国津名郡阿并郷上里戸主
- ・海部麻呂戸口同姓色淵調塩三斗 天平七年十月 214・26・8 032 JF13
- ・讃岐国山田郡田井郷
- ・凡直佐留三斗并一俵
- ・神人八国三斗 172・22・5 031 JF09
- 讃岐国三木郡中男作物鮪六斤 (114)・22・3 039 JD18
- ・讃岐国那珂郡調備頭打 二斗
- ・「那珂郡調備頭打二斗五升」 198・28・3 031 JD26
- ・讃岐国寒川郡長尾郷□部
- ・少足庸米六斗 (157)・(16)・6 033 JF11
- ・讃岐国三野郡阿麻郷 丸部
- ・宮日戸同丸部古君塩三斗 199・19・4 031 JF11
- ・阿波国美馬郡 「二」
- ・三野郷戸主佐伯直国分米□□ 200・21・5 033 JD19
- 伊予国宇和郡調贄楚割六斤 166・22・5 031 JD26
- 伊予国宇和郡調贄楚割六斤 153・23・5 031 JD17 *8
- ・肥後国 □ (35)・29・6 081 JD18
- 山田郡米六斗 (120)・15・4 039 JF09

・伊与国伊与郡石神直嶋□				御調水母二斗八升	133・20・3	032	JF14
・伊設阿拝郡大庭庭庭庭庭庭私稻私佐美	(420)・25・3	019	JF09	煮堅魚一連五節	93・17・2	032	JF10 *8
・□郷美香里戸主土師連							
・席一枚 天平七年十月	(126)・25・3	032	JD17	与利刀納五斤	51・15・2	031	JD20 *9
・大野郷小田村里				与利刀納六斤	50・13・2	031	JD18
・舎人部石足	133・23・5	033	JD19	造白二斗三升	111・25・3	032	JD20
上郷上小野五戸白米五斗	195・26・5	051	JD18	入醬四升	154・23・4	032	JD18
□□里宇刀部飯麻呂戸同部若麻呂堅魚十三連	212・20・6	033	JD23	氷頭一斗	73・16・2	032	JD17 *9
・大田里建部麻呂戸同部石麻呂堅魚				長腸一升	75・16・3	032	JD22 *10
・十三連四節	215・20・5	033	JF11	鮓脂 六年	(96)・26・3	039	JD20
大伴部里栖調六斤「四列八條」	149・24・4	032	JD21	鮮鮓十貝	(143)・23・5	031	JD18
賀茂堅魚三連 上	140・14・3	032	JF10	麻生割鮓卅貝	126・12・3	051	JD24
賀茂堅魚三連 上	153・11・3	032	JF11	比焉鮓二籠	200・38・7	032	JD19
糯粉一斗七升	70・16・3	032	JF12				

鯨鮓	125・20・3	031	JD29	播磨	35・12・3	032	JD18
鮒鮓	121・22・4	031	JD17	播磨	47・16・2	032	JD18 *10
狎繩	86・13・2	032	JD17	○丹後国塗漆櫃	149・23・5	011	JFZ *10
雉脂	47・13・2	031	JD18 *9	○美作国塗漆櫃	145・(16)・7	032	JFZ
背脯	(125)・21・3	051	JD27 *11	北方	131・25・5	032	JF10
脂穴 上	110・24・4	032	JF11	下	96・20・7	032	JD23
角俣	(183)・22・5	051	JD29	下 (双鉤線刻)	(44)・25・5	081	JF11
・漬瓜	(76)・26・4	039	JF10	・一			
・漬瓜				・五			
・漬瓜				・三			
・漬瓜				・六			
・漬瓜				・二			
上次	30・14・2	032	JD18	・四 (六角柱の賽子)	45・長径19・短径15	061	JD26 *11
山代	66・25・(2)	032	JF10 *10				
山代	66・25・(3)	032	JF10	封 封	85・16・3	031	JD19

封	封	103.17.3 031 JD24 *10	安	92.6.6 011 JD28
封	封	73.13.2 031 JD27	安	92.6.6 011 JD28 *10
封		595.41.5 031 JD18	安	92.6.6 011 JD28
印		(350).41.5 031 JD18	安	92.6.6 011 JD28
簞子		78.6.6 011 JD29	安	93.6.7 011 JD28
水真利			安	93.6.6 011 JD28
大□□		93.7.6 011 JD27	安	93.6.6 011 JD29
安		93.6.6 011 JD21	安	93.7.7 011 JD29
安		93.6.6 011 JD24	左	68.9.8 011 JD27 *10
安		93.6.6 011 JD27	左	67.8.8 011 JD27
安		92.8.8 011 JD27	左	67.8.8 011 JD28
安		93.6.6 011 JD27	左	80.8.8 011 JD29
安		92.7.6 011 JD28	左	69.8.8 011 JD29

左 70.8.8 011 JD29

事状便付調使
位姓

091 JF10 *12

左 81.7.8 011 JDZ

□ 税税
調使位姓 □

091 JF10 *12

□ 国司解申副物欠少事 右去年陽旱

□ 「證人」 □ 091 JF10 *12

□ 送謹解 □
□ □ □

091 JF10 *12

□ 右去年 091 JF10 *12

下野国司 091 JF10

□ 陽早五穀不登老小飢謹求 □ 091 JF10 *12

長謹頓首啓 □ 主帳尊 091 JF10

□ 饑四方求食此住彼堺彼来此間 □ 091 JF10 *12

皇后宮職 合 091 JF11 *12

□ 件仍具事 □ 091 JF10 *12

□ 国塔志郡 上日貳 091 JF10

□ 伯陸 壹拾肆 天平二年中等 上日貳伯 夜壹伯玖拾貳 天平三年中等 上日貳伯壹拾漆 天平 □

091 JF10

中衛府移 □ 091 JD24

并中衛歷名如件謹以申聞謹 091 JD11

〔阿刀〕
□□酒主誠恐誠惶謹□ 091 JD27

網曳司進上 御□〔贊〕 091 JD25

・東南西北方西西「東南西北方南南南角角」〔單〕
262・(32)・3 011 JD29 *10

・東南西北方

・染角方以粟漿水上角塗
□□□知 □
□斷鄉知知 □籠羈情」 (167)・(21)・5 019 JD29

・越干麻毛用 □□□〔越麻毛力〕
越麻毛 □ 276・(31)・2 081 JD29

・宿侍取者 大伴集

・鳥麻 鳥鳥鳥鳥麻□□ (146)・(23)・3 081 JF10

府奏 中衛府奏合合合合□□ (237)・(17)・8 081 JF12 *10

・列張寒來暑往收秋冬
□□□□

・物致益仍法罪□ (122)・(26)・10 081 JD29

・天天天 □□□不不□□
□□天地玄黃宇

・若 着□□□□□□
□□□十八日 歲歲養養養 (219)・(22)・7 081 JD29

・千字文勅員外散騎侍郎周興次嗣韻天地玄黃宇
惣合買得稻苜得藟五百九十六束四把八分

・天地黃黃稻平章欲章章九十 十九把一分
度使使□□

・節節度 惣合買得報如前仍合六束八把
合五 五十六把 (359)・43・8 019 JD18

・豐成 騎兵隊 合
合合合五□ 買 (98)・44・3 081 JD18

· 道道陸陸□□陸廣勝勝勝勝

· 牒 牒觀世音

· 宿宮宿宿宿宿及及琴琴□□專專□吏□

(366) · 37 · 4 019 JD29

· 魂魂 魂魂羈情

(124) · (22) · 5 081 JD29

枕光煇

116 · 84 · 72 065 JD28

□□ 西西瓦殿□

(195) · (24) · 3 081 JD29

南無法海善清無上儀王如來

· 八九七十二 六九五十四□□

南無々比菩薩

160 · 18 · 4 011 JF13

· □ □

(158) · (6) · 4 081 JF10

□具能

不□□

天地玄黃宇宙洪荒日月□□

千字文 等千

天

大好

此□□

河內國

持其風

九々

善□□

致余□□

豆

□□

蒙恩澤 余餘

□□□□□□□□皆是從家□

龜聞苦

勅府比來間取出家人等者

今火急可為 家人五□

勅比來間出家人等者

苦

620 · (108) · 8 061 JD29

東西溝SD五三二〇

御井於門 丸部嶋守

263・(20)・6 081 JD35

〔岡本宅解カ〕

□□□□

右令造作物

(73)・(12)・4 081 JD34

・〇西門鎰一匙
・〇西門鎰一匙

(92)・25・5 011 JD34

岡本宅 上進青角豆十把

天平八年七月廿日田辺久世万呂

250・37・5 011 JD34 *11

・〇南門 匙
・〇南門□

120・26・5 011 JD34

・西瓦蓋殿

秦

□□□□

(67) (12) 3 081 JD34

〔岡本カ〕

□□□□

天平八年□月十九日田辺久世万呂

390・(55)・5 081 JD34

膳所宿直合二人 岡屋臣□

六月十八日

(184)・(32)・3 081 JD34

女沓十六兩 直八百八十文 四兩別五十文
尅柄刀子四枝 直五十六文 別十四文 受廣虫

(313)・(34)・4 019 JD34

〔三カ〕

廿□日不食米一斗二升四合

□

(144)・(10)・3 081 JD34

高奈波白沙長四尺四寸 廣一尺一寸直卅五文
藤井刀自□□□四尺 廣一尺直卅文

「 猪一鬮身□

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□
呂米 呂米 呂米 呂米 呂米 呂米 呂米 呂米
〔三根〕」

〔三カ〕

十市 雀
多米 山代 □□ 生部

(192)・21・3 081 JD35

(430)・(5)・5 019 JD34

木簡出土遺構一覽

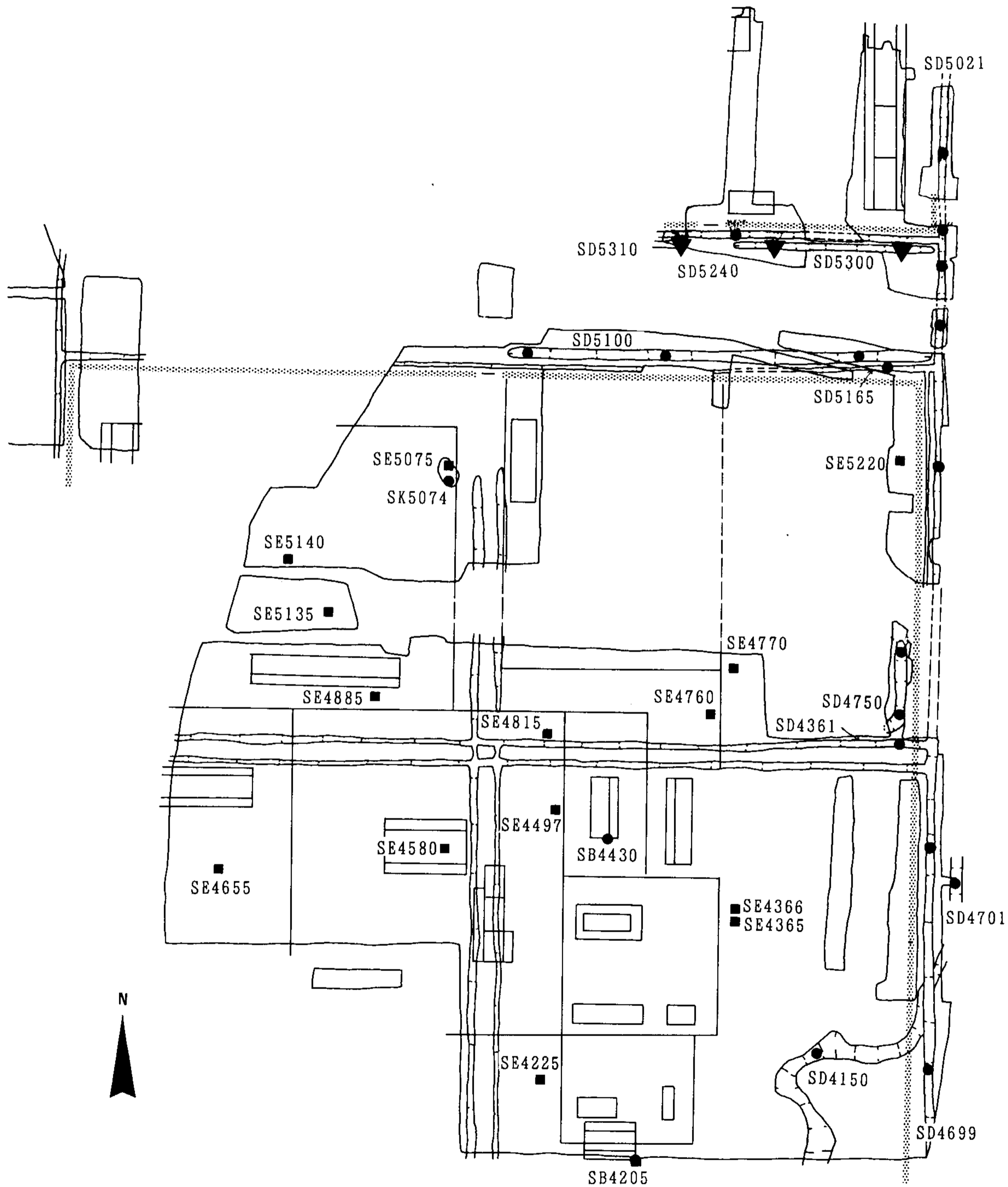
遺構番号	木簡点数	発掘次数	年度	木簡概報
蛇行溝 SD4150	1	178	86	20
掘立柱建物 SB4205	1	"	"	"
井戸 SE4225	1	"	"	"
井戸 SE4365	1	184	87	"
井戸 SE4366	11	"	"	"
掘立柱建物 SB4430	2	"	"	"
井戸 SE4479	1	"	"	"
井戸 SE4580	1	"	"	"
井戸 SE4770	227	186北	"	"
南北溝 SD4750	約40000	193E	88	一部21・23
	約750	193F	89	一部23
東二坊坊間路西側溝 SD4699	109	178	86	20
	221	193A	88	23
	131	193B	"	"
	34	198A	89	"
	16	198C	"	"
SD5021	19	198B	"	"
	141	202-13	"	"
東二坊坊間路东側溝 SD4701	7	193A	88	22
三条条間北小路北側溝 SD4361	3	"	"	"
二条大路南側溝 SD5165	1	193B	"	"
二条大路北側溝 SD5240	8	193B	89	23
	31	204	"	"
不整形土壇 SK5074	12	197	88	22
井戸 SE4655	2	186西	"	"
井戸 SE4760	2	186補	"	"
井戸 SE4815	1	186補	"	"
井戸 SE4885	2	190	"	"
井戸 SE5075	5	197	"	"
井戸 SE5135	1	195	"	"
井戸 SE5140	1	"	"	"
井戸 SE5220	4	193B	"	"
二条大路南側路肩東西溝 SD5100	400+ α	193B	"	一部22
	400+ α	197	"	"
	850+ α	200	"	"
	40+ α	200補	89	"
二条大路北側路肩東西溝 SD5300	約22000	198B	"	一部24
	約13000	204	"	"
SD5310	350+ α	"	"	"

○整理途中のため木簡の点数が未確定のものが多い。厳密な数字は不明ながら総数を予想しうるものは「約 点」とし、今後の整理によって点数が増加する調査については、現在確認した点数に「+ α 」印を付けた。

○木簡概報の欄は奈良国立文化財研究所『平城宮発掘調査出土木簡概報』の号数を示す。

○遺構の概要については、それぞれの発掘年度の『平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』を参照されたい。

遺構略図と木簡出土地



0 50 100m